

十三小学校研究推進便り

11 月 14 日（金）、5 時限目 第 7 回の研究授業

場所：家庭科室

なかよし学級「育てた野菜をおいしく食べよう」 芝本 敬子 学級

<研究授業参観に当たって>

なかよし学級は、昨年度より野菜の栽培活動に意欲的に取り組んでいました。学校掲示板でも、育てた野菜の収穫や調理の様子を全校児童に知らせてきました。苦手なニンジンでも調理次第でおいしく食べることができることや、色々なニンジン料理の味や食感、香りなどを楽しむことで、野菜に親しみをもたせることをねらった授業となっています。

<研究授業では、つぎの視点でみてください>

食育の観点から

- ① 写真を掲示することで、前回食べた野菜料理のことを思い出すことができる。
- ② 調理する前のニンジンの味、食感、香りがわかる。
- ③ 安全に調理をする。
- ④ いろいろなニンジン料理の試食から、味、食感、香りの違いなどに気づくことができる。
- ⑤ 栄養教諭の先生と連携して、T. T. として効果的に活躍する場をもつ。

言語活動の観点から

- ① 試食して、自分が感じたことを発表することができる。
- ② 自分の思いと友だちの思いを比べながら感想を聞くことができる。

教室環境・掲示物等

調理の手順を視覚的に分かりやすく示している。

<芝本先生のつぶやき>

なかよし学級では、昨年度より野菜の栽培活動に取り組んできました。収穫した野菜を調理・試食することを毎回楽しみにしています。今年は、子どもたちが「ピーマン植えたい!!」「メロン!!」「トウモロコシ!!」などなど作付け野菜のリクエストを行い、実際に育てました。1 学期の調理実習では、「あっ、これやったら食べられる。」「何かいつもの味と違う。」と野菜のおいしさへの気づきが少しずつみられるようになりました。また、調理方法にも興味を持ち始める子どもが多くなってきました。

今回は、いろいろなニンジン料理を試食することで、同じ野菜でも調理方法により、味・食感・香りなどが変化することに気づかせ、様々な野菜料理に対して興味関心をもつきっかけになってほしいと思っています。